

ロビーラウンジはハイビジョンによる映像と音楽が流れ、ゆったりくつろげる癒しの空間となっている



東洋鍼灸専門学校がトータルボディケア施設をめざした「東洋鍼灸治療院」をオープン

東洋鍼灸専門学校を母体とする株式会社柳谷素霊記念東洋医学療法研究所が、東京都・JR新大久保駅前に「東洋鍼灸治療院」をオープンさせた。

卒業研修の場と就職先の確保・斡旋、そして鍼灸の啓蒙とイメージアップを目的につくられた「東洋鍼灸治療院」は、東洋鍼灸専門学校からも2～3分の場所にある。

104坪の広々としたフロアには、相談・サービスカウンターと12の完全個室治療室、ゆったりくつろげるラウンジが用意され、駅前とは思えない静寂の空間となっている。

治療院はその静寂の癒し空間を演出するために、2重サッシ窓や間接照明、ハイビジョンによる映像と音楽、遮音カーテンなど、細かい部分まで気を配ったつくりとなっている。

常勤のスタッフとともに東洋鍼灸専門学校で教鞭をとっている開業鍼灸師をはじめとするベテラン勢を非常勤スタッフに迎え、柳谷素霊の思想と精神を受け継いだ名人の治療が受けられる形態だ。

代表取締役の毛塚鉄雄氏は「鍼灸、あん摩マッサージ指圧治療のほかに、アロマやオイルマッサージ等の手技療法も今後取り入れ、これまでの鍼灸学校の臨床施設のイメージとは違ったトータルボディケア施設として、全国展開を考えていきたい」と抱負を語ってくれた。

個室治療室はプライベートを守るため、音が漏れないようにつくられている



相談・サービスカウンター



治療後もロビーラウンジのソファでくつろぎのひとときを過ごせる



株式会社柳谷素霊記念東洋医学療法研究所
代表取締役の毛塚鉄雄氏



治療院受付

